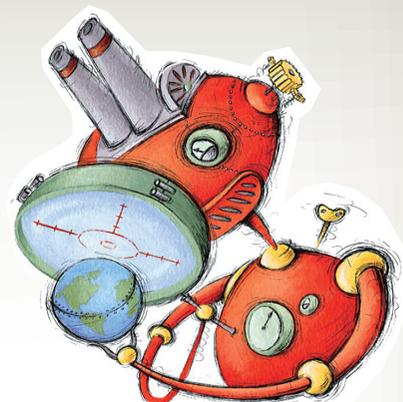


2019年度 集中講義のご案内

— 反射法地震探査 —

講師：高橋 明久 博士

石油資源開発株式会社 技術本部 本部長補佐



科目名：修士一 変動地球惑星科学特別演習Ⅱ (1単位)

博士一 変動地球惑星科学特殊演習Ⅱ (1単位)

実習のねらい(対象)と内容：

反射法地震探査は、石油天然ガス探査の世界で発展したが、今では地震防災のための地下構造調査や、二酸化炭素地中貯留(CCS)の圧入層モニタリングにおいても重要な役割を果たしている。本講義では、反射法地震探査の原理・データ取得・データ処理・データ解釈までの基礎的な流れを学ぶことを目的とする。その上で、石油天然ガス探査・地震防災調査・CCSモニタリングでの実例について解説する。実習では、紙と色鉛筆を用いた手作業で、反射法の原理と解釈の基本を経験する。

※ 昨年度の講義との重複は一部のみであり、それ以外は異なる講義ですので、昨年度受講した学生も積極的に受講してください。

環境・地球科学国際共同大学院プログラム(GP-EES)の学生については、希望者にはGP-EESの科目の単位の一部として認定することも可能です。

日時： 2019年12月19, 20日

スケジュール：

12月19日(木) 10-12時 13-17時

12月20日(金) 10-12時 13-17時

担当： 松澤 暢 教授
(地震・噴火予知研究観測センター)

会場： 地震・噴火予知研究観測センター
A棟(新棟)2階 講義室(205号室)

総時間は12時間。反射法地震探査に関連した演習約5時間を含む。

参加者に期待する力量：

学部初級レベルの物理・数学の基礎知識があれば十分である。地球物理系のみならず、地質系・資源工学系・環境工学系の学生も歓迎する。なお、講義は日本語と英語の両方で行われるので、留学生の参加も歓迎する。

お問い合わせ：

toru.matsuzawa.c6@tohoku.ac.jp
松澤暢教授(Prof. Toru Matsuzawa)

カリキュラム(暫定)

1日目 10:00-12:00	反射法地震探査におけるデータ取得・処理
1日目 13:00-15:00	演習1
1日目 15:20-17:00	反射法地震探査のデータ解釈と地質モデル構築
2日目 10:00-12:00	演習2
2日目 13:00-14:40	演習3
2日目 15:00-17:00	反射法地震探査の適用例(石油天然ガス探査・地震防災調査・CCSモニタリング)

※ 参加希望者は12月9日までに松澤教授宛にメールでご連絡ください。